

地域住宅生産者グループ

福島復興住宅協力会

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
希望の礎の家	県北・県中・相双（相馬）

グループの特徴とメッセージ

当グループは、福島県建設業協会加盟の(株)安藤組と会津建設(株)2社と、ムネカタテック(株)の3社を中心として復興住宅建設を目的として結成したグループです。

建設業協会加盟の2社については、木造建築は基よりRC造・S造の各種建築を手掛け、安藤組においては公共工事において県・市の優良工事表彰を多数取得しており又、会津建設においては、自社に製材工場も有し木造住宅件数において、協会で随一の年間工事実績を誇っています。

ムネカタテック(株)も、木造住宅の専門工事業者として、多数の実績を有しています。各社とも各々の実績から製材所等を含めた協力会社を有し、3社が協力することにより多岐にわたる御要望にも、十二分に対応できる事を約束致します。

グループの基本情報

グループ名称	福島復興住宅協力会
所在地	福島県福島市浜田町3番28号 (株)安藤組内
結成年月	2012年2月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計38社 原木供給 : 3社 製材 : 4社 建材流通 : 5社 プレカット : 2社 設計 : 1社 施工 : 4社 その他 : 19社
代表者名	安藤正文 (株式会社安藤組代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等	

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,500~1,700万円
価格の基準面積	100㎡
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績（年間）

建設戸数*（木造戸建）	60戸
うち地域材活用の住宅	3戸
うち長期優良住宅	3戸
グループとしての施工実績	なし 戸
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	15戸
自由記入欄（上記以外の実績等）	500万円以上の大～中規模リフォーム工事を3戸程度受注（年間）

※参画する施工業者の建設戸数(23年度)の合計

連絡窓口

担当者名	紺野達也	メール	andogumi@trust.ocn.ne.jp
電話番号	024-534-2325	FAX	024-533-8303

地域型復興住宅

希望の礎の家

地域型復興住宅のイメージと特徴

■家族のつながりを感じる家づくり

- ・リビングを中心に和室・ダイニング・キッチンを設置し家族が必ずリビングを通るため、自然に会話の増える家づくり。
- ・キッチンからリビング・和室・ダイニングを見渡せるため、炊事をしながら小さなお子様の様子を伺い、家族との日常を楽しめる家づくり。



■家族の期待に応える住まいづくり

- ・和室とリビングを続きで設け、オープンにしたり、仕切ったり空間の可変性を持たせた住まい。
- ・水廻りを北側に揃えることで家事動線を短縮し、共働きや忙しい日常にもゆとりができる住まい。
- ・各室にしっかり収納を設け、日常の片付けを楽しめる住まい。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：55.90㎡ 2階：47.20㎡
設計	会津建設株式会社	施工	会津建設株式会社
施工費	1,500万円（設計費用は除く）	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■ 経験と実績に基づいた親切設計

- 代表設計事務所を含め、各会社とも建築士事務所協会へ加盟しており、5名の設計者（女性の一級建築士を含む）によりプランニングを行い、最適な住空間を提案
- 綿密な現場調査に基づいた環境に融合した設計
- 家族の団らんと個人のプライバシー保護を両立した設計
- 要求事項と低価格を満足した設計
- 使い勝手に合わせ家具の配置を考慮し、適切なコンソートの配置等をプレゼン

主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、アカマツ、松、カラマツ
産地	福島県会津地域
認証制度等	県産材証明
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では福島県産材を50%以上活用した住宅を供給します。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴

■ 長期優良住宅基準への適合

- 劣化対策等級3、耐震等級2以上、維持管理対策等級3、省エネルギー対策等級4を確保
- 仕上げ 屋根 平型スレート、外壁 窯業系サイディング、玄関ドア・サッシ YKK AP
内部建材 パナソニック、大建工業、ユニットバス 各メーカー採用
- フレキシブル設計への対応（下図参考）



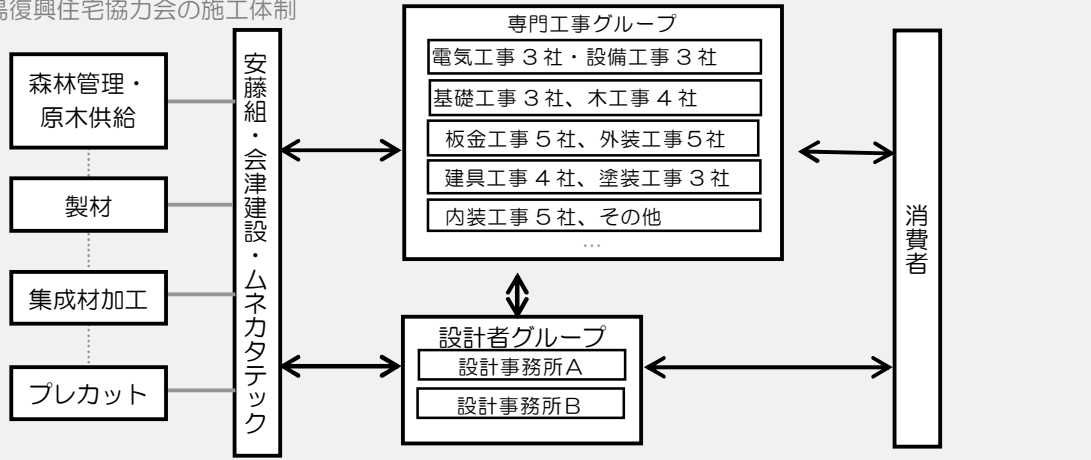
地域住宅生産者グループ 福島復興住宅協力会

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

■長期間継続取引関係による優先供給

・グループ内各社は全て、長期間健全な取引関係の企業を選定しており、信頼関係も厚く、実績も有することから、生産供給や流通資材の調達に関し問題が生じること無い、又、各種工事においても、同一業種に複数の企業を確保しており、需要に十分対応できる体制となっている。

福島復興住宅協力会の施工体制



施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■地元企業ならではのスピーディな対応

- ・ 設計段階
対応窓口担当者と代表設計担当者による訪問対応
プラン決定後、仕上げ材の計画は各メーカー展示場活用
- ・ 施工段階
現場進行状況に合わせ、現場担当者と施主により、
現地にて詳細協議の開催
- ・ 竣功引渡後
維持保全計画書（30年）による適切な点検実施
長期優良住宅以外の物件については、竣功後6ヶ月
1年・2年の定期点検を実施



維持保全計画書（30年間）

点検対象	点検項目	点検時期	点検の目的
建築	コンクリート基礎	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	基礎の劣化、ひび割れ、変位等の確認
	柱	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	柱の腐食、変位、ひび割れ等の確認
	梁	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	梁の腐食、変位、ひび割れ等の確認
	床	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	床の浮き、ひび割れ、変位等の確認
	壁	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	壁の剥離、ひび割れ、変位等の確認
	天井	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	天井の剥離、ひび割れ、変位等の確認
	窓	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	窓の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	扉	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	扉の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	階段	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	階段の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	屋根	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	屋根の劣化、変位、ひび割れ等の確認
設備	電気設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	電線の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	水道設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	水道管の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	排水設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	排水管の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	暖房設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	暖房設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	換気設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	換気設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	給排水設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	給排水設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	エレベーター	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	エレベーターの劣化、変位、ひび割れ等の確認
	防犯設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	防犯設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	防災設備	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	防災設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認
	その他	竣工後、1年、2年、3年、5年、10年、20年、30年	その他設備の劣化、変位、ひび割れ等の確認